



Y.Machida

THE NIKKEI SHINSHUN HAI

第72回 日経新春杯 (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 57,000,000円 23,000,000円 14,000,000円 8,600,000円 5,700,000円
付加賞 1,148,000円 328,000円 164,000円



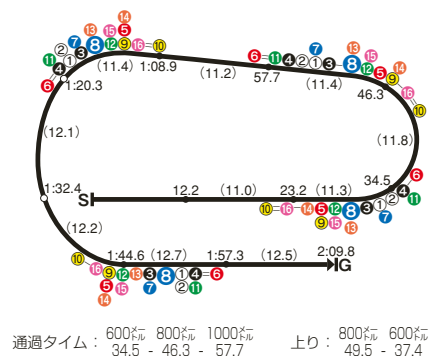
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、2024.1.13以降2025.1.13まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.1.19 中京 晴・良 芝2200m (国産) (特招)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑧	ロードデルレイ	牡 5	57.5	西村淳也	2:09.8	8-8-8-6	35.6	490(+4)	7.2④	中内田充正(栗東)	116
2	⑭	ショウナンランブタ	牡 4	56	鮫島克駿	3	14-13-12-12	35.4	540(+4)	5.5③	高野友和(栗東)	110
3	①	マイネルエンバレー	牡 5	55	幸 英明	3/4	5-5-4-4	36.3	486(+6)	15.0⑦	清水久詞(栗東)	105
4	③	ヴェローチェエラ	牡 4	55	川田将雅	クビ	8-8-8-9	36.0	496(-4)	4.9①	須貝尚介(栗東)	107
5	⑨	サトノグラツツ	牡 5	58.5	松山弘平	3/4	12-13-12-12	36.1	514(+8)	25.2⑩	友道康夫(栗東)	
6	⑩	キングスバレス	牡 6	57.5	M.デム・ロ	アタマ	16-16-16-16	35.5	506(+4)	17.6⑧	戸田博文(美浦)	
7	⑥	マイネルメモリー	牡 5	55	菱田裕二	アタマ	15-15-15-15	35.9	472(+4)	219.2⑮	宮 徹(栗東)	
8	②	バトルボーン	牡 6	57	横山武史	1/2	4-4-4-4	37.1	500(+8)	35.6⑪	林 徹(美浦)	
9	⑨	サリエラ	牝 6	55	団野大成	1 1/2	10-10-10-10	36.7	422(+4)	53.0⑯	国枝 栄(美浦)	
10	③	ヴェルトライゼンデ	牡 8	59.5	A.ルメートル	クビ	7-7-6-7	37.1	500(+8)	39.2⑫	池江泰寿(栗東)	
11	⑥	メイショウタリル	牡 4	57.5	浜中 俊	2 1/2	1-1-1-1	39.5	510(+8)	5.3②	石橋 守(栗東)	
12	⑤	プラチナトレジャー	牡 7	54	田口貴太	1 1/4	12-12-12-12	37.1	478(-4)	344.9⑰	国枝 栄(美浦)	
13	⑮	タッチウッド	牡 5	56	武 豊	2 1/2	10-10-10-10	37.7	536(-4)	19.3⑨	武幸四郎(栗東)	
14	⑦	ホールネス	牝 5	55	坂井瑠星	1 1/2	5-5-6-7	38.4	534(-2)	8.2⑤	藤原英昭(栗東)	
15	④	ケイアイサンデラ	牡 5	55	藤懸貴志	2 1/2	2-3-2-2	39.3	450(+6)	96.1⑭	小林真也(栗東)	
16	⑪	サンライズアース	牡 4	56	池添謙一	5	2-2-2-2	40.0	540(+16)	8.4⑥	石坂公一(栗東)	

単勝⑧720円(4[△]%) 複勝②280円(5[△]%) ⑭190円(2[△]%) ①350円(7[△]%) 枠連④-⑦500円(1[△]%)
馬連⑧-⑭2,170円(6[△]%) ワイド⑧-⑭850円(7[△]%) ①-⑧1,390円(18[△]%) ①-⑭1,170円(14[△]%)
馬単⑧-⑭4,690円(18[△]%) 3連複①-⑧-⑭9,140円(30[△]%) 3連単⑧-⑭-①44,500円(134[△]%)



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.5 - 46.3 - 57.7 49.5 - 37.4

アラカルト

- ・西村淳也騎手は日経新春杯初勝利。JRA重賞は通算11勝目
- ・中内田充正調教師は日経新春杯初勝利。JRA重賞は通算43勝目
- ・ロードカナロア産駒はJRA重賞通算79勝目
- ・5歳馬の勝利は24年ブローザホーンに続く通算18回目

ロードデルレイ *Lord del Rey*

牡 鹿毛 2020.5.5生

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産

馬主・株ロードホースクラブ 栗東・中内田充正厩舎

馬名意味・冠名+王の(西)

レディバラーDIRE系 F12-c

ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	レディブラッサム 鹿毛 1996	Storm Cat サラトガデューUSA
デルフィーノ 青鹿毛 2011	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA アイリッシュダンス
	レディアーティスト 鹿毛 2004	フレンチデピュティUSA
		レディバラーDIRE

5代までのインブリード：Halo M4×M5

INTERVIEW

加藤健場長(ケイアイファーム)

緊張感を持ちながら接したことを思い出します

母は中央で3勝してくれました。自家生産馬である父と母との間に生まれたロードデルレイは、牧場時代からスピード溢れる走りをみせており、期待とともに「無事に次のステージに繋がなくては」という緊張感を持ちながら接したことを思い出します。今回は初距離をものともせず強い競馬をみせてくれました。今後はとにかく健康でレースに臨んでほしいと思います。

S.Setoguchi



戦(アンドロメダS、中日新聞杯)は、いずれも逃げ切り勝ちを収めたデシエルトを掴まえきれず2着に敗れたものの、この日は一皮むけた姿を披露。キヤリア9戦のロードカナロア産駒には、まだまだ伸びしろが見込めそうだ。

3歳1月のデビューからオープン初勝利を挙げた白富士Sまで6戦5勝。唯一の敗戦は神戸新聞杯の4着と、底を見せずに出世の階段を駆け上がった本馬だが、昨年6月の鳴尾記念で本馬場入場後に跛行を発症、競走除外となるアクシデントに見舞われた。態勢を立て直され、昨秋に復帰してからの2

4コーナー奥のポケット地点からゲートが開くと、メイショウタバルが一枚上のダツシユで飛び出して主導権を奪取。とはいえ、闘争心に火がついて

近年の日経新春杯は、過去10年間で6勝をマークしている4歳馬の優勢が目立つ。上位拮抗の様相を呈した今年も1勝クラス特別から3連勝中のヴェローチエラを筆頭に、同舞台で争われた神戸新聞杯の覇者メイショウタバル、菊花賞の4着馬シヨウナンラフンタと、1~3番人気は4歳勢が占めた。しかし勝利を飾ったのは4番人気のロードデルレイ。アクシデントを乗り越え、地力も着々と強化してきた5歳馬が念願の重賞初制覇を果たした。

しまった馬はペースを落とせず、短距離戦並みの速いラップを刻んでレースを引っ張る。後続の各馬は自分のリズムを守って進み、馬群の隊列が縦に延びていくなか、ロードデルレイの西村淳也騎手は中団の内を追走。その外につけたヴェローチエラに対し、シヨウナンラフンタは後方でじつくりと末脚を温存した。

アクシデントを乗り越えて重賞初制覇

父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 中央、香19戦13勝(香港スプリント^{G1}2回、安田記念^{G1}、スプリンターズS^{G1}2回、高松宮記念^{G1})、年度代表馬、最優秀短距離馬2回、14年から供用。20~24年日本リーディング2位〔代表産駒〕アーモンドアイ(ジャパンC^{G1}2回、ドバイターフ・首^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}2回、桜花賞^{G1}、オークス^{G1}、秋華賞^{G1}、ヴィクトリアマイル^{G1})、サートゥルナーリア(皐月賞^{G1}、ホープフルS^{G1})、ダノンスマッシュ(香港スプリント^{G1}、高松宮記念^{G1})、パンサラッサ(ドバイターフ・首^{G1}、サウジC・沙^{G1})、ベラジオオペラ(大阪杯^{G1})、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップ^{G1})、タガロア Tagaloa(ブルーダイヤモンドS・豪^{G1})、ファストフォース(高松宮記念^{G1})、フレディヴェグ(エリザベス女王杯^{G1})、ダノンスコービオン(NHKマイルC^{G1})、レッドレゼル(JBCスプリント^{JbI})、他に重賞勝ち馬多数

母デルフィーノ

北海道三石町 ケイアイファーム生産 中央19戦3勝

ロードドレイク(18 牡父ロードカナロア)中央8戦0勝、地方4戦3勝

ロードブライト(19 牡父ドウラメンテ)中央15戦0勝、地方3戦2勝 ㊟

ロードデルレイ 本馬(20 牡父ロードカナロア)中央9戦6勝(日経新春杯^{GⅡ}、白富士S・L、ウェルカムS、赤倉特別、つばき賞、中日新聞杯^{GⅢ}2着、アンドロメダS・L2着)獲得総賞金174,349,000円

(21 流産)

ロードアルディート(22 牡父ドウラメンテ)中央3戦0勝 ㊟

(23 牡父ダノンスマッシュ)

(24 牡父ロードカナロア)

祖母レディアーティスト

北海道三石町 ケイアイファーム生産 中央1勝。15年死亡

ロードクルセイダー(10 牡父フジキセキ)中央2勝(伏竜S^p2着)

デルフィーノ(11 前出)

カルディア(12 牝父ゼノロブロイ)中央0勝、地方1勝、リトス(朱竹賞、橘S・L3着)の母

ロードダヴィンチ(15 牡父ロードカナロア)中央1勝

曾祖母レディバラーDIRE

中央5勝(阿蘇S^p、福島テレビ杯、アカシヤS)、地方2勝(TCK女王盃^{GⅢ}、クイーン賞^{GⅢ}、スパーキングレディーC^{GⅢ}2着)、99年輸入、19年用途変更、死亡、ダノンバラーD(アメリカジョッキークラブC^{GⅢ}、ラジオNIKKEI杯2歳S^{GⅢ}、種牡馬)、ロードアリエス(京都新聞杯^{JbⅡ}2着)の母